

【添付】

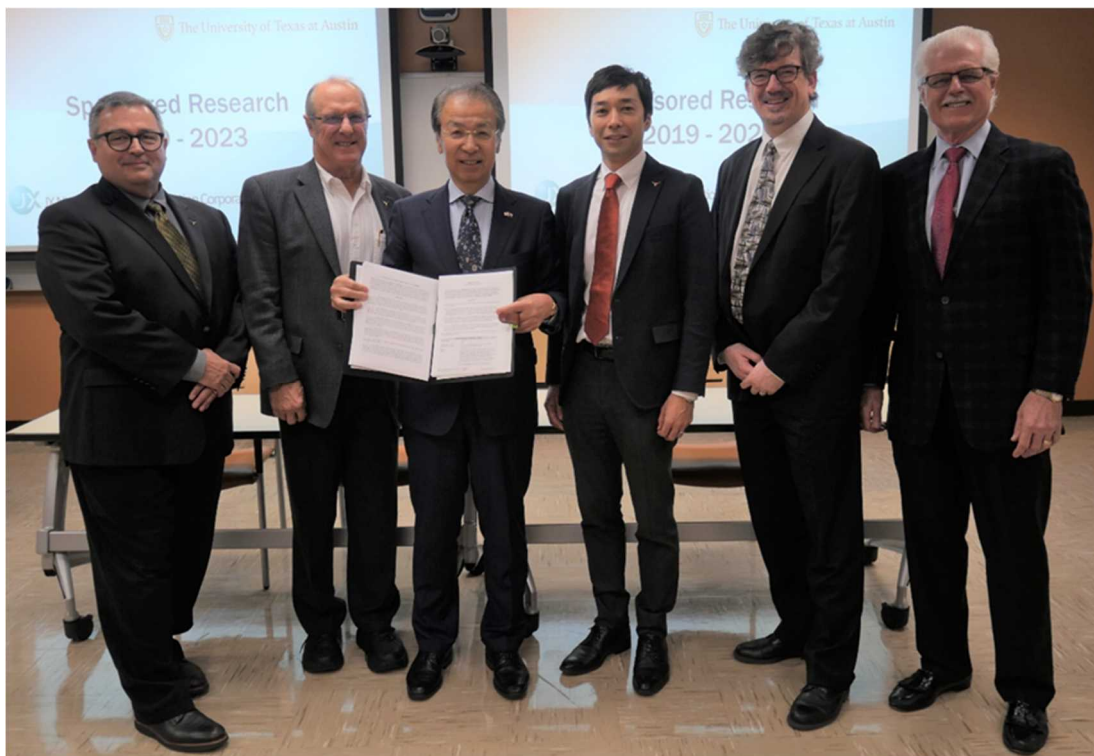
1. ケミカル EOR 技術の概要

- ・ アルカリやポリマー、界面活性剤を水に混ぜて圧入することで増産を図る技術。
- ・ 本研究で主に対象としている界面活性剤攻法では、圧入水と原油の間の界面張力が低下し、水だけでは上手く置換できない原油を効率よく押し出すことが可能になる。

2. テキサス大学オースティン校の概要

- (1) 設 立：1883 年
- (2) 所在地：米国テキサス州オースティン
- (3) 学生数：約 5 万人
- (4) 当社との関わり：同校のガス EOR に関する産学連携プログラムに 2013 年から参画している

3. 調印式の模様



調印式にて

(左から) ニコルス氏、キャットレット氏、細井社長、奥野准教授、オルソン学部長、エカード副学長



石油工学部棟前にて

細井社長 (左から 5 人目)、上田副社長 (左から 7 人目)、辰巳常務 (左から 8 人目)